

往電第764号に関し、

2024年11月の内政・外交・経済の主な動きについて以下のとおり報告する。

【ポイント】

内政

- 7日付け当地ブスケダ紙は、ウルグアイが法治度ランキングで中南米第1位となった旨報じた。
- 24日に実施された大統領選挙決選投票の結果、野党オルシ拡大戦線（FA）候補が勝利し、ウルグアイ次期大統領に選出された。

外交

- 7日付け当地主要紙は、ウルグアイ政府の次期トランプ米政権下における二国間関係強化に関する楽観的な見方を報じた。
- 29日、オルシ次期大統領はブラジルを訪問し、ルーラ・ブラジル大統領と会談した。

経済

- 8日、S & P等の主要投資格付け会社は、新政権における経済政策の継続性及び安定性を見込みウルグアイ国債の評価を据え置いた。

【本文】

1 内政

（1）法治度ランキング中南米第1位

7日付け当地ブスケダ紙は、世界正義プロジェクト（WJP）による法の支配指数（Rule of Law）で、ウルグアイが0.72の評価を受け、中南米32か国中第1位、世界142か国中第24位にランクしたと報じた。「法の支配指数」は8つの要因別に評価を行い、ウルグアイは「汚職の欠如」で高いスコアを得た一方、「刑事司法」が低く評価され、特にサブファクターである「犯罪行為を減少する効果的な矯正制度」が脆弱であり「効果的な犯罪調査制度」も不十分との結果であった。なお、首位はデンマーク（0.9）、ノルウェー（0.89）、フィンランド（0.87）、スウェーデン（0.86）の順で北欧諸国が占め、日本は昨年同様第14位であった。

（2）ウルグアイ大統領選挙決選投票の実施

24日、ウルグアイ大統領選挙の決選投票が実施され、野党ヤマンドゥ・オルシ拡大戦線（FA）候補が得票率49.8%を獲得し、与党アルバロ・デルガド国民党候補（45.9%）を破り勝利した。オルシ次期大統領は、「経済的、社会的、政治的に誰も置き去りにしない包摂的な国」を目指す決意を表明し、対話と団結の重要性を強調した。一方、デルガド候補は、「主権者の決定を尊重し、

連立与党はオルシ候補と拡大戦線（F A）に祝福の抱擁をする」旨述べ自身の敗北を宣言した。翌年３月、オルシ次期大統領及びコッセ次期副大統領の就任式が行われ新政権が発足する運びとなり、ウルグアイは現在の中道右派政権から再び中道左派政権に移行する。

2 外交

（１）次期トランプ米政権に対するウルグアイ政府の見方

７日付け当地主要紙等は、次期トランプ米政権に対するウルグアイ政府の見方について報じた。外務省は、次期米政権におけるルビオ上院議員の国務長官への起用を好意的に受け止めており、その理由に、ルビオ議員のラテンアメリカに対する見識の深さ、また、同議員がウルグアイとの関係強化を重要視する旨の発言を度々おこなってきた経緯を指摘。一方、関係者は、本年１月に署名されたウルグアイ・米国間の中期的な査免に関する覚書、また、昨年、米議会に提出されたウルグアイ産品に対する特惠関税適用に関する法案等は、A P E P（経済的繁栄のための米州パートナーシップ）同様、次期米政権における優先順位が低くなると推測され中断する可能性が否めないものの、基本的な二国間関係に影響するものではなく、戦略的パートナーである米国との更なる関係強化を望む旨述べている。

（２）オルシ次期大統領のブラジル訪問

２９日、オルシ次期大統領は、サンチェス次期大統領府長官、オドネ次期経済財務大臣、パドロン外交政策顧問を同伴し、次期大統領として初の外遊を行い、ルーラ・ブラジル大統領と会談した。オルシ次期大統領は、中南米諸国との協調を外交の優先事項としており、地域外交におけるルーラ政権下のブラジルを重要視している。オルシ次期大統領は、会談の主な目的は現政権下で停滞しているヤグアロン川の第二架橋建設、サン・ゴンサロ運河の浚渫、メリン湖及びパトス湖の水路開発等の二国間問題の解決を模索することであると説明した。

3 経済

（１）ウルグアイ国債格付けB B B＋維持

８日、投資格付け会社のスタンダード＆プアーズはウルグアイ国債をこれまで同様のB B B＋と評価した。ウルグアイ国債は２０２３年にB B BからB B B＋に格上げされて以来同評価を保ってきたが、今回も、新政権において現在の堅実な財政規律政策が維持され経済成長が期待できるとの理由により評価が継続されたと同社は説明した。また、日本の格付け会社R & I 社、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスなどもウルグアイ次期政権における経済政策に対する同様の見方をしており現在の評価を維持した。

3 要人往来

（１）往訪

- ・ 1 日～ 2 2 日：ロサーノ住宅土地整備大臣のエジプト、アゼルバイジャン歴訪
- ・ 5 日、6 日：カスティンデバ国防大臣のアルゼンチン訪問
- ・ 1 2 日：サンギネッティ観光大臣のコロンビア訪問
- ・ 1 3 日：アルベレチェ経済大臣、ファシオ工業エネルギー鉱業大臣、マッルス農牧水産大臣のアゼルバイジャン訪問
- ・ 1 7 日：パガニーニ外相のブラジル訪問
- ・ 2 5 日：サンギネッティ観光大臣のアルゼンチン訪問
- ・ 2 6 日：マルティネリ内務大臣のスペイン訪問
- ・ 2 6 日～ 2 8 日：サンギネッティ観光大臣のアルゼンチン訪問
- ・ 3 0 日：ブビエル環境大臣のサウジアラビア訪問